

葬儀、法事、ご遺骨、お身体の不調
など… お気軽にご相談ください!

☎ 03-6231-4733

090-6340-9040



●ひとくち法話

『言葉の本質』（中公新書）にヘレンケラーのことが書かれてありました。ヘレンケラーは幼いころ視覚、聴覚を失いその後サリバン先生との出会いで物には名前があることに気づくのですが、この本ではその気づきを「閃き（ひらめき）」と表現していました。サリバン先生がヘレンに物を渡すときその手に指で文字を書きその指が別々の動きをしていることには彼女は気づいてました。そしてある日、掌に冷たい水を受けているときサリバン先生が「water」と指で綴るとその指文字が名前だと閃きを得た…！ということです。/現在、目まぐるしく発展する人工知能（AI）がまだできないことが人間独特の閃き能力だそうです。この人間独特の閃きが赤ちゃんから子供になると言葉が爆発的に覚えてゆくことと深く関係するそうです。研究者によると赤ちゃんが言葉を覚える時、重要なオノマトペ「もぐもぐ」「ふわふわ」などの言葉がその後、名前の気づきと名前には意味があることの閃きと深く関係していることも解っているようで、この閃きを「名づけの洞察」といわれてました。赤ちゃんは親や他の人々のオノマトペから言葉の意味に閃き気づいてゆく能力があるということです。/さて、ヘレンケラーが物には名前があることに導いた人はサリバン先生でしたが、南無阿弥陀仏という言葉が阿弥陀仏の救いのはたらきそのものであることを最初に言葉で導いてくださった方がお釈迦さまでした。そのことが説かれてあるお経を『仏説無量寿経』といい親鸞聖人は真実の教とお示しです。/『仏説無量寿経』の内容は「南無阿弥陀仏」という言葉の本質は自らの能力で知りえるものではなく阿弥陀仏の他力信心が中心であるということが親鸞聖人のみ教えです。ここが、科学と宗教の大きな違いです。前述ではAIと人間の言語能力の違いを紹介しましたが、浄土真宗の他力本願の本質は人間の閃きを超越している阿弥陀如来の大慈悲（信心）のはたらきですのでAIが知りえることはできない領域です。浄土真宗はその命尽きるまで阿弥陀様の大慈悲に身をゆだね浄土に生まれさせていただく宗教です。

-
- 妙蓮寺クラブ（妙蓮寺を応援してくださる仲間のつどいです） 随時受付中です！
 - ・ 京都本山参拝、お骨預かり、築地本願寺合同墓紹介、築地新報・法語カレンダー配布など
 - ・ 会費 年間 5,000 円/ 振込先 ゆうちょ銀行/ 口座番号 00130-0-588019

※急な葬儀でお困りの方はまずご相談ください。



HP

■ 第14回 宗教の歴史から今を知る会

日時 令和8年 3月12日（木曜日）

18時～お話・語り合い お話 妙蓮寺住職

19時30分頃 終了

途中ストレッチ体操などもいたします…！

場所 船堀タワーホール 404号

東京都江戸川区船堀4-1-1 都営新宿線 船堀駅 徒歩一分

■ 春のお彼岸法要

日時 3月22日（日曜日）

14時～勤行 『仏説阿弥陀経』

参拝者お焼香

14時30分 60分一席 途中休憩あり

講師 千葉県 真宗寺 柏倉学法師

16時頃 解散

場所 妙蓮寺 本堂

東京都江戸川区一之江2-17-5 駐車場あり



初彼岸のご家族さま

この度、初彼岸をお迎えのご家族さまは、このご縁に是非ご参拝ください。その際法名の読み上げも致します。（俗名でも可）参拝ご希望の方は過去帳または、お位牌をご持参願います。

講師紹介

柏倉先生には毎年お越しいただいております。在家から僧侶になられ、現在、副住職として布教伝道にご活躍です。楽しく、やさしくお話くださいます。

お問合せ 090-6340-9040 03-6231-4733

